教科目名　心理学　(Psychology)

学科名・学年　：全学科　５年
単位数など　：選択　１単位　（後期１コマ，学習保証時間 22.5 時間）
担当教員　：藤田　文

授業の概要

心の動きの基礎や仕組みに関して蓄積されてきた知見や理論を学ぶと共に、できるだけ身近な現象や経験を通して心とは何か、心の健康に何が必要かについての問題意識と理解を深める。

達成目標と評価方法　　**大分高専目標（Ａ１），JABEE 目標（a）**

(1) 心理テストの実体験によってパーソナリティーテスト等の意義を理解する。（定期試験）
(2) 基礎的な心理実験の経験を通して心のメカニズムに接近する科学的な方法論を学ぶ。（定期試験）
(3) 人間の心に関する一般的な先入観や誤解を廃して、科学としての心理学という認識を育てる。(定期試験)
(4) 人間関係の理解や調節に心理学の知見を活用することを学ぶ。（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7			【理解の度合い】
8			【試験の点数】　点
9 10 11 12 13 14			【理解の度合い】
15			【試験の点数】　点
1～ 7	感覚と知覚 記憶（記憶の理論） 記憶（日常生活における記憶） 記憶と忘却 思考（思考の特性と歪み）	感覚と知覚の違い、知覚の特性の理解 記憶のボックスモデルと記憶方略の理解 日常生活の記憶のあいまいさの理解 記憶と対照的な忘却のメカニズムの理解 日常生活における思考の歪みの理解	【理解の度合い】
8	後期中間試験		【試験の点数】　点
9～ 14	後期中間試験の解答と解説 対人認知 パーソナリティーの理論 パーソナリティーテスト 心の健康（葛藤と欲求不満） 心の健康（ストレス） 心理療法の理論	自分の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する。 対人認知における印象形成の理解 パーソナリティーの類型論特性論の理解 パーソナリティーテストの実施法の理解 適応・不適応状態に至る心の特性理解 ストレス状態の理解と対応 精神分析・行動療法・認知療法等の理解	【理解の度合い】
15	後期期末試験		【試験の点数】　点
	後期期末試験の解答と解説	自分の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する。	

履修上の注意	心理学は机上の学問ではない。日常生活の中での具体的な心の体験と結びつけて理論を理解していくこと。質問歓迎。	【総合達成度】
教科書	授業の進行に合わせて教材を資料として提供する。	
参考図書	梅本堯夫・大山正編著「心理学への招待」サイエンス社 菊池聡・谷口高士・宮元博章著 「不思議現象なぜ信じるのかーこころの科学入門―」北大路書房	
関連科目	哲学概説	
総合評価	最終成績＝（後期中間試験成績＋後期期末試験成績）／２	【総合評価】　点